

# 令和5年度 第1回 守谷市上下水道事業審議会

令和5年7月24日



## 報告事項

- (1) 令和4年度 事業実績について
- (2) 令和5年度事業計画について
- (3) その他



## 報告事項(1)

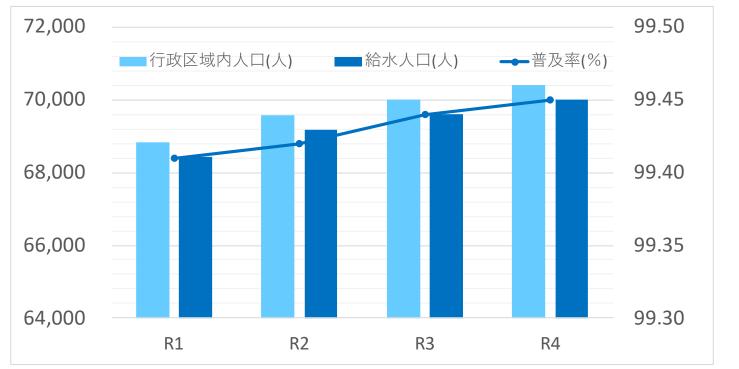
## 令和4年度 事業実績について



## 1 業務状況について【水道事業】

(人)

(%)

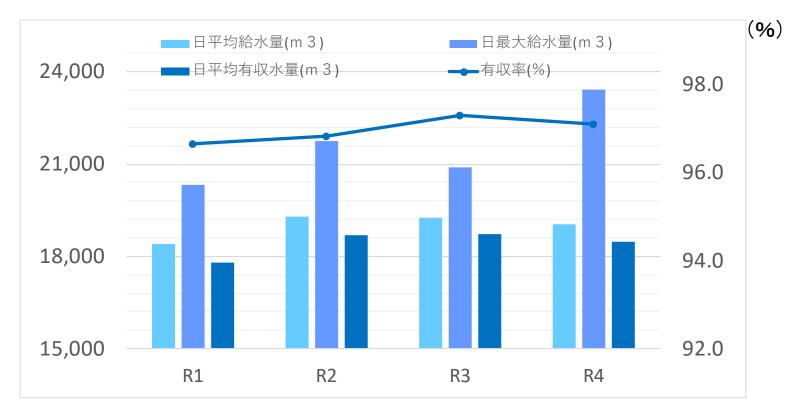


年度	R1	R2	R3	R4	R4-R3
行政区域内人口(人)	68,828	69,573	69,996	70,404	408
給水人口(人)	68,421	69,166	69,601	70,017	416
給水件数(件)	28,203	28,750	29,173	29,726	553
普及率(%)	99.41	99.42	99.44	99.45	0.01



## 1 業務状況について【水道事業】

(m3)

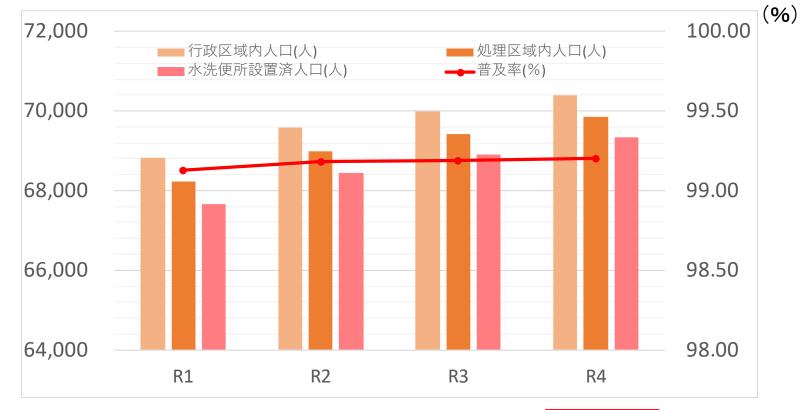


年度	R1	R2	R3	R4	R4-R3
日平均給水量(m³)	18,404	19,301	19,249	19,039	△ 210
日最大給水量(m³)	20,316	21,733	20,885	23,405	2,520
日平均有収水量(m³)	17,787	18,691	18,732	18,488	△ 244
有収率(%)	96.65	96.84	97.31	97.11	△ 0.20



## 1 業務状況について【下水道事業】

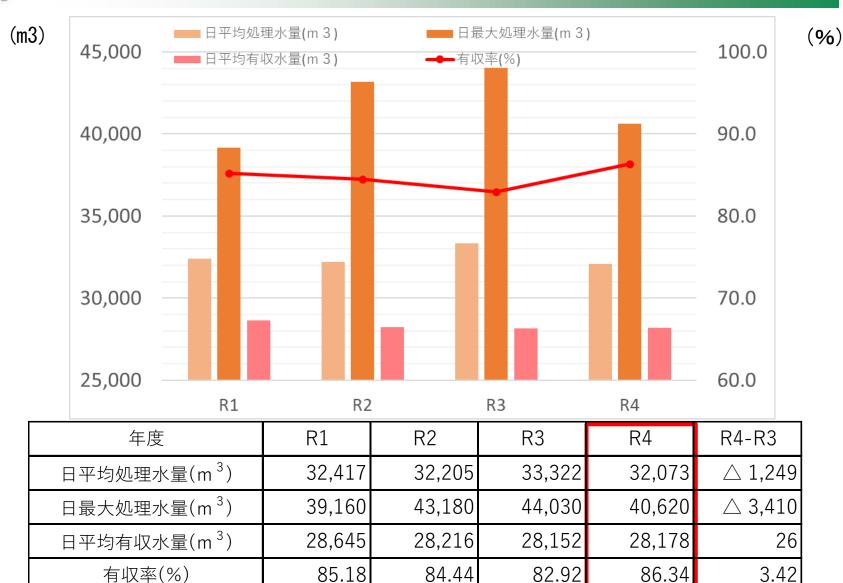




年度	R1	R2	R3	R4	R4-R3
行政区域内人口(人)	68,828	69,573	69,996	70,404	408
処理区域内人口(人)	68,232	69,000	69,429	69,841	412
水洗便所設置済人口(人)	67,666	68,455	68,899	69,331	432
普及率(%)	99.13	99.18	99.19	99.20	0.01

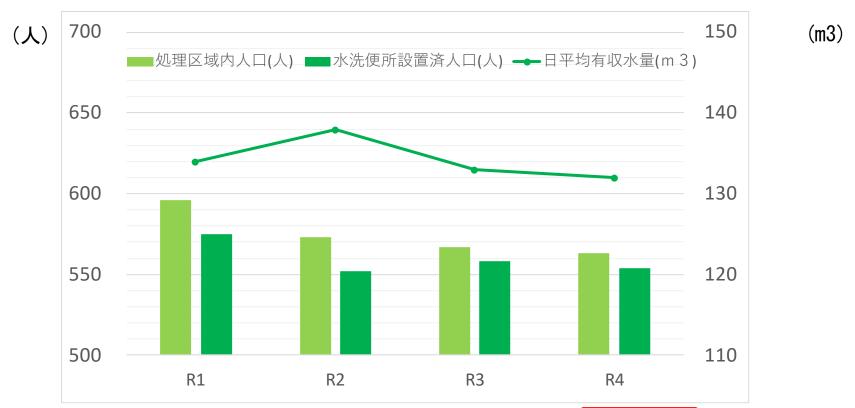


### 1 業務状況について【下水道事業】





## 1 業務状況について【農業集落排水事業】



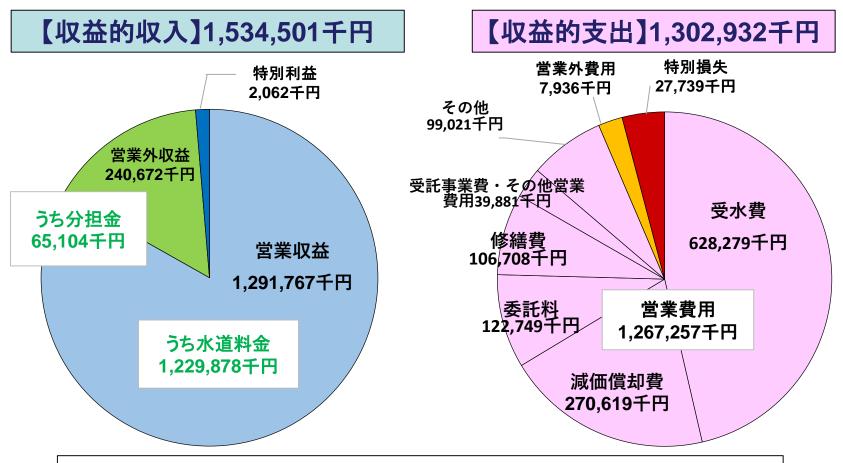
年度	R1	R2	R3	R4	R4-R3
処理区域内人口(人)	596	573	567	563	△ 4
水洗便所設置済人口(人)	575	552	558	554	△ 4
日平均有収水量(m³)	134	138	133	132	$\triangle$ 1
普及率(%)	0.87	0.82	0.81	0.80	△ 0.01



### 2 経営状況について(決算) 【水道事業】

### 収益的収入および支出(損益計算書:税抜き)

※施設の維持や運転、包括料金委託などの費用(3条予算)



収益的収入一収益的支出=231,569千円(当年度純利益)



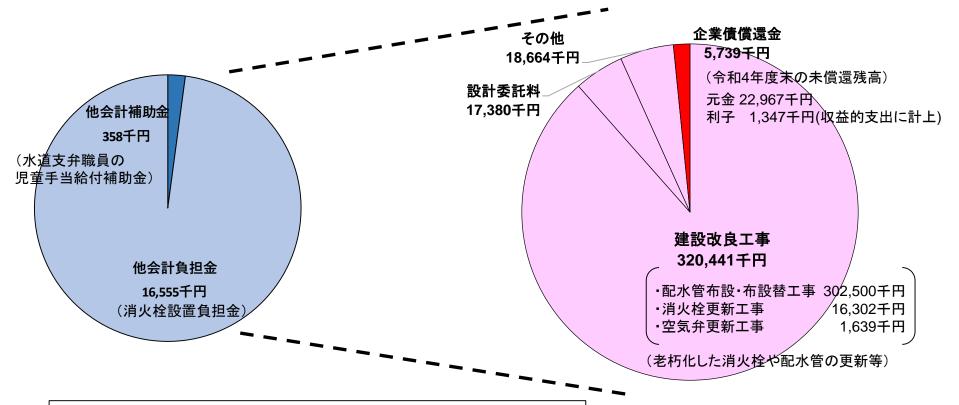
### 2 経営状況について(投資・財務) 【水道事業】

### 資本的収入および支出(税込み)

※施設の構築等(4条予算)

### 【資本的収入】16,913千円

### 【資本的支出】362,224千円



資本的収入一資本的支出=△345,311千円

※不足額は内部留保資金等で補てん



### 2 経営状況について(投資・財務) 【水道事業】

### ■内部留保資金について

#### 内部留保資金とは

減価償却費など、実際に現金の支出がない費用計上によって生じた資金。 この資金は、主に施設整備の費用や、これまでに行った施設整備のために 借り入れた借金の元金返済の財源として使われる。

この内部留保資金を財源として整備された施設の費用は、その翌年から減価償却費として費用に計上され、また内部留保資金として積み立てられる。

#### 令和4年度末の内部留保資金など

ア	現金預金+未収金+前払金など	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	3,518百万円
---	----------------	-----------------------------------------	----------

イ 修繕引当金・未払金・建設改良積立金 当年度未処分利益剰余金など ・・・・・・・ 798百万円

#### 補てん財源として使用可能額

① 内部留保資金 (アーイ)		2,720百万円
----------------	--	----------

② 積立金(減債積立金・建設改良積立金)・・・・・ 52百万円

③ 当年度純利益(繰越利益剰余金を含む) ・・・・ 282百万円

計 (1)+2+3) ------ 3,054百万円



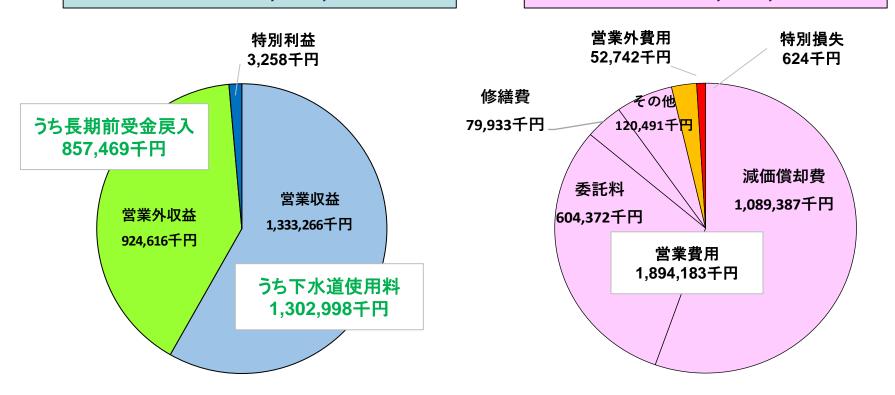
### 2 経営状況について(決算) 【下水道事業】

### 収益的収入および支出(損益計算書:税抜き)

※施設の維持や運転、包括料金委託などの費用(3条予算)

### 【収益的収入】2,261,140千円

#### 【収益的支出】1,947,549千円



収益的収入一収益的支出=313,591千円(当年度純利益)



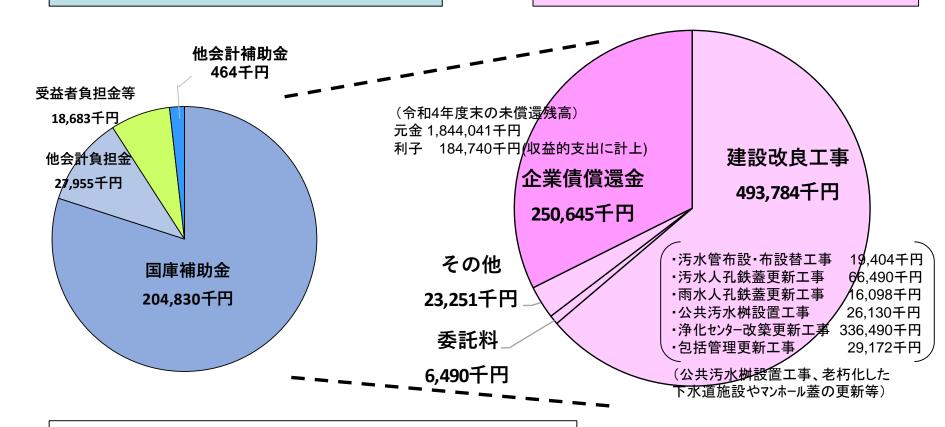
### 2 経営状況について(投資・財務) 【下水道事業】

### 資本的収入および支出(税込み)

※施設の構築等(4条予算)

### 【資本的収入】251,932千円

### 【資本的支出】774,170千円



資本的収入一資本的支出=△522,238千円

※不足額は内部留保資金等で補てん



### 2 経営状況について(投資・財務) 【下水道事業】

### ■内部留保資金について

### 令和4年度末の内部留保資金など

(1+2+3)

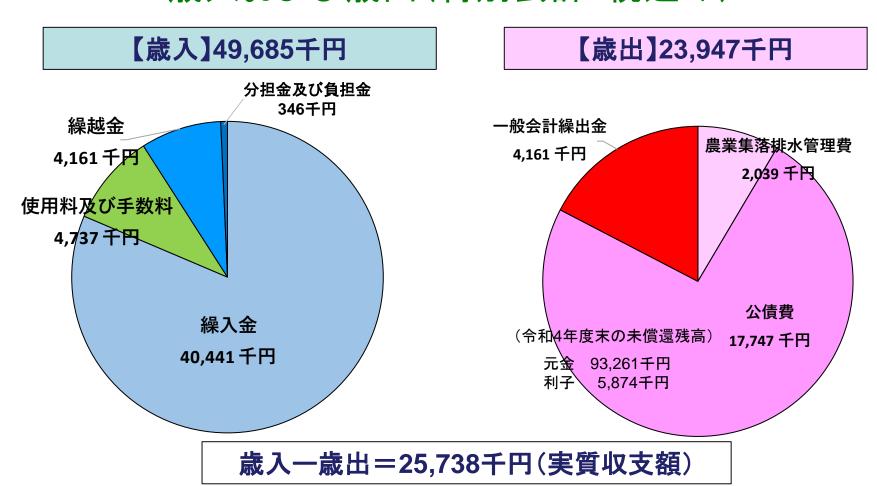
ア 現金預金+未収金+前払金など ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5,811百万円
イ 修繕引当金・未払金・減債積立金 当年度未処分利益剰余金など ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1,527百万円
補てん財源として使用可能額	
① 内部留保資金 (アーイ) ************************************	4,284百万円
② 積立金(減債積立金)	541百万円
③ 当年度純利益(繰越利益剰余金を含む) ••••	367百万円

5,192百万円



### 2 経営状況について(決算) 【農業集落排水事業】

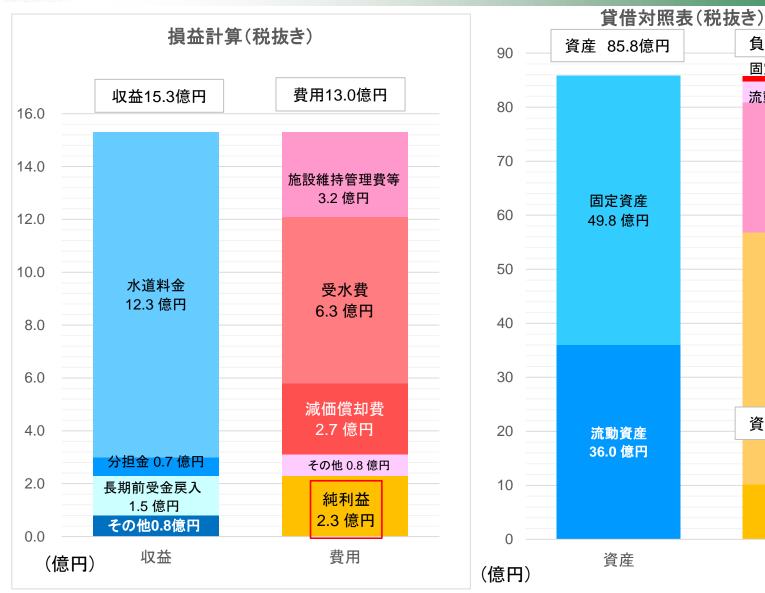
### 歳入および歳出(特別会計:税込み)



※農業集落排水事業については、令和5年度から地方公営企業法の適用に伴い、 令和5年3月末日をもって打切決算を行っている。



## 2 経営状況について【水道事業】



負債 29.0億円

固定負債 1.0 億円

流動負債 3.9 億円

繰延収益

24.1 億円

資本金 46.6 億円

資本 56.8億円

剰余金

10.2 億円

負債•資本



## 2 経営状況について【下水道事業】



## 貸借対照表(税抜き) 資産289.9億円





### 2 経営状況について(経営成績) 【水道事業】

### 1. 経常収支比率

給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示す指標であり、単年度の収支が黒字であるためには、100%以上となっている必要がある。

経常収支比率=経常収益÷経常費用×100

### 2. 分析

項目	R3	R4	差
経常収支比率 (%)	122.75	120.17	Δ2.58

経常収支比率は昨年度より減少し、120.17%となりました。給水人口は増加(416人増)したものの、新型コロナウイルス感染状況が落ち着き、在宅勤務者が減少に転じていることから、給水収益が減少したこと(△1,775万円)、及び新規加入者からの分担金収入の減少(△3,469万円)等により減少しました。



### 2 経営状況について(経営分析) 【水道事業】

- 1. 供給単価 (水1㎡をいくらで売っているかを示す) 有収水量1m³当たりどの位の収益を得ているかを表したもの。 給水収益÷年間総有収水量
- 2. 給水原価 (水1㎡をいくらで作っているかを示す) 有収水量1m³当たりどの位の費用を要しているかを表したもの。

経常費用-(長期前受金戻入+受託事業費+材料売却原価)

年間総有収水量

### 3. 分析

項目	R3	R4	差
1. 供給単価 (円/m³) ①	182.48	182.26	Δ0.22
2. 給水原価 (円/m³) ②	157.04	159.06	+2.02
3. 料金回収率 (%) ①/②	116.20	114.59	Δ1.61

有収水量、給水収益共に昨年度と比較して減少したため、供給単価は前年度とほぼ同程度となりました。

有収水量は昨年度と比較して減少したが、経常費用が昨年度と比較して増加したため、給水原価が上昇し、料金回収率が低下しました。



### 2 経営状況について(予算対比1) 【水道事業】

(単位:千円、税込)

R4年度	予算	決算	差異
水道事業収益	1,602,231	1,668,671	66,440
営業収益	1,383,882	1,418,743	34,861
営業外収益	217,256	247,866	30,610
特別利益	1,093	2,062	969
水道事業費用	1,475,058	1,403,627	△71,431
営業費用	1,409,099	1,360,106	△48,993
営業外費用	29,617	13,279	△16,338
特別損失	33,342	30,242	△3,100
予備費	3,000	0	△3,000
当年度純利益	127,173	265,044	137,871

令和4年度の実績は、予算と比較して、収益は主に給水収益の増加などにより66,440千円増加し、一方で費用は主に修繕費や井戸撤去工事費などの減少により71,431千円の減少となりました。その結果、差し引きで137,871千円の利益増となりました。



### 2 経営状況について(予算対比2) 【水道事業】

(単位:千円、税込)

R4年度	予算	決算	差異
資本的収入	24,302	16,913	△7,389
他会計負担金	23,944	16,555	△7,389
他会計補助金	358	358	0
工事負担金	0	0	0
資本的支出	706,065	362,224	△343,841
建設改良費	700,326	356,485	△343,841
企業債償還金	5,739	5,739	0
工事負担金返還金	0	0	0
収支不足額	△681,763	△345,311	336,452
現金預金残高	3,378,914	3,322,955	△55,959

令和4年度の実績は、予算と比較して、資本的収入は消火栓設置負担金の減少などにより7,389千円減少し、一方で資本的支出は配水管布設替工事費が年度内に完了しなかったことなどにより343,841千円減少しました。



### 2 経営状況について(計画対比1) 【水道事業】

(単位:千円、税抜)

R4年度	経営戦略	決算	差異
水道事業収益	1,525,842	1,534,501	8,659
営業収益	1,311,587	1,291,767	Δ19,820
営業外収益	214,255	240,672	26,417
特別利益	0	2,062	2,062
水道事業費用	1,465,137	1,302,932	△162,205
営業費用	1,376,617	1,267,257	△109,360
営業外費用	1,040	7,936	6,896
特別損失	87,480	27,739	△59,741
当年度純利益	60,705	231,569	170,864

令和4年度の実績は、経営戦略と比較して、収益は主に分担金収入の増加などにより 8,659千円増加し、一方で費用は主に修繕費や除却費の減少により162,205千円減少 しました。その結果、差し引きで170,864千円の利益増となりました。



### 2 経営状況について(計画対比2) 【水道事業】

(単位:千円、稅込)

R4年度	経営戦略	決算	差異
資本的収入	240	16,913	16,673
他会計負担金	0	16,555	16,555
他会計補助金	240	358	118
工事負担金	0	0	0
資本的支出	437,062	362,224	△74,838
建設改良費	431,323	356,485	△74,838
企業債償還金	5,739	5,739	0
工事負担金返還金	0	0	0
収支不足額	△436,822	△345,311	91,511
現金預金残高	2,772,446	3,322,955	550,509

令和4年度の実績は、経営戦略と比較して、資本的収入は消火栓設置負担金の増加などにより16,673千円増加し、一方で資本的支出は配水管布設替工事費を翌年度に繰り越されたことなどにより74,838千円減少しました。将来の建設改良工事の財源となる現金預金残高は、550,509千円増加しました。



### 2 経営状況について(経営分析) 【下水道事業】

### 1. 経営成績

項目	R3	R4	差
経常収支比率 (%)	122.91	115.97	Δ6.94

経常収支比率が昨年度よりも増加した理由は、主に処理場費用の増加による営業費用の増加が挙げられます。

### 2. 使用料単価と汚水処理原価

項目	R3	R4	差
使用料単価 (円/m³) ①	126.45	126.69	+0.24
汚水処理原価 (円/m³) ②	91.34	103.32	+11.98
経費回収率 (%) ①/②	138.44	122.62	△15.82

使用料単価は、昨年度と比べて大きな変動はなく、ほぼ横ばいとなりました。 汚水処理原価は、主に処理場費用の増加による営業費用の増加があり、昨年度より増加しま した。



### 2 経営状況について(予算対比1) 【下水道事業】

(単位:千円、税込)

R4年度	予算	決算	差異
下水道事業収益	2,284,249	2,393,238	108,989
営業収益	1,420,217	1,464,626	44,409
営業外収益	860,519	925,103	64,584
特別利益	3,513	3,509	Δ4
下水道事業費用	2,198,504	2,055,154	△143,350
営業費用	2,074,745	1,964,412	△110,333
営業外費用	120,073	90,058	△30,015
特別損失	686	684	Δ2
予備費	3,000	0	△3,000
当年度純利益	85,745	338,084	252,339

令和4年度の実績は、予算と比較して、収益は主に下水道使用料の増加などにより 108,989千円増加し、一方で費用は主に委託料や修繕費の減少などにより143,350 千円減少しました。その結果、差し引きで252,339千円の利益増となりました。



### 2 経営状況について(予算対比2) 【下水道事業】

(単位:千円、稅込)

R4年度	予算	決算	差異
資本的収入	305,760	251,932	△53,828
国庫補助金	231,000	204,830	Δ26,170
他会計負担金	54,578	27,955	△26,623
受益者負担金等	19,718	18,683	△1,035
他会計補助金	464	464	0
資本的支出	982,339	774,170	△208,169
建設改良費	731,693	523,525	Δ208,168
企業債償還金	250,646	250,645	Δ1
収支不足額	△676,579	Δ522,238	154,341
現金預金残高	4,850,680	5,498,634	647,954

令和4年度の実績は、予算と比較して、資本的収入は国庫補助金の減少などにより53,828 千円減少し、一方で資本的支出は汚水管布設工事の繰り越しなどにより208,169千円の減少しました。その結果、資本的収入から資本的支出を差し引いた収支不足額は154,341千円減少となりました。



## 2 経営状況について(計画対比1) 【下水道事業】

(単位:千円、税抜)

R4年度	経営戦略	決算	差異
下水道事業収益	2,301,467	2,261,140	△40,327
営業収益	1,477,547	1,333,266	△144,281
営業外収益	823,920	924,616	100,696
特別利益	0	3,258	3,258
下水道事業費用	1,844,905	1,947,549	102,644
営業費用	1,799,636	1,894,183	94,547
営業外費用	44,970	52,742	7,772
特別損失	299	624	325
当年度純利益	456,562	313,591	△142,971

令和4年度の実績は、経営戦略と比較して、収益は主に下水道使用料の減少などにより40,327千円減少し、一方で費用は主に修繕費の増加などにより102,644千円増加しました。その結果、差し引きで142,971千円の利益減となりました。



### 2 経営状況について(計画対比2) 【下水道事業】

(単位:千円、税込)

R4年度	経営戦略	決算	差異
資本的収入	155,395	251,932	96,537
国庫補助金	117,859	204,830	86,971
他会計負担金	25,146	27,955	2,809
受益者負担金	12,270	18,683	6,413
他会計補助金	120	464	344
資本的支出	636,599	774,170	137,571
建設改良費	385,954	523,525	137,571
企業債償還金	250,645	250,645	0
収支不足額	△481,204	Δ522,238	△41,034
現金預金残高	5,227,994	5,498,634	270,640

令和4年度の実績は、経営戦略と比較して、資本的収入は国庫補助金の増加などにより 96,537千円増加し、一方で資本的支出は建設改良費の増加により137,571千円増加しま した。将来の建設改良工事の財源となる現金預金残高は270,640千円増加しました。



### 2 経営状況について(資金不足比率)

### 資金不足比率

事業規模に対する資金の不足額の比率で、経営状態の悪化の度合いを示す指標。

- ■水道·下水道事業 (流動負債-流動資産)÷(営業収益-受託事業収益)×100
- ■農業集落排水事業 (歳出一歳入)÷(使用料·手数料一受託事業収入)×100

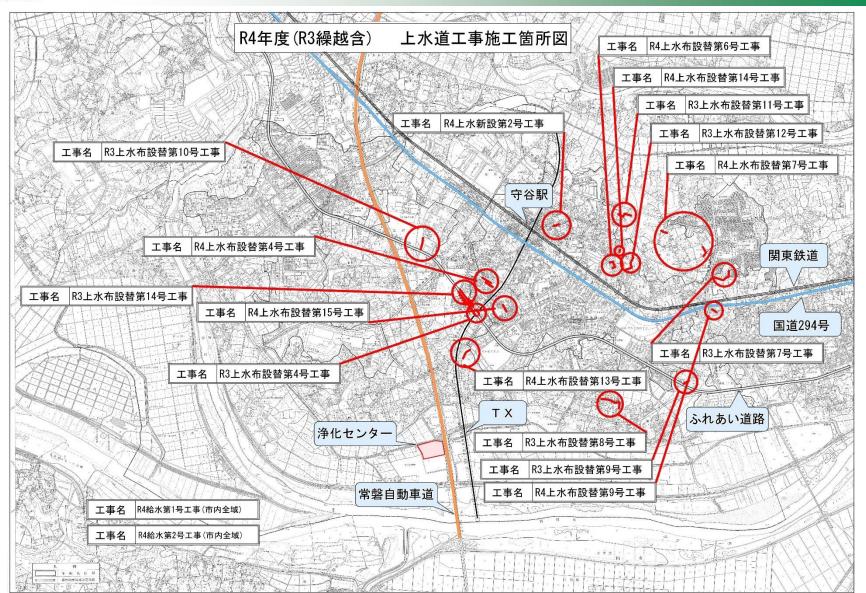
項目		R3	R4	差
水道事業	(%)	△252.96	△256.44	+3.48
下水道事業	(%)	△372.56	△375.66	+3.10
農業集落排水事業	(%)	△71.63	△543.34	+471.71

水道・下水道事業ともに資産が負債を上回っている。 農業集落排水事業は、歳入が歳出を上回っている。 したがって、全ての事業でマイナスとなり、**資金不足額はない**。

※農業集落排水事業については、令和5年度から地方公営企業法の適用に伴い、令和5年3月末日をもって 打切決算を行っている。

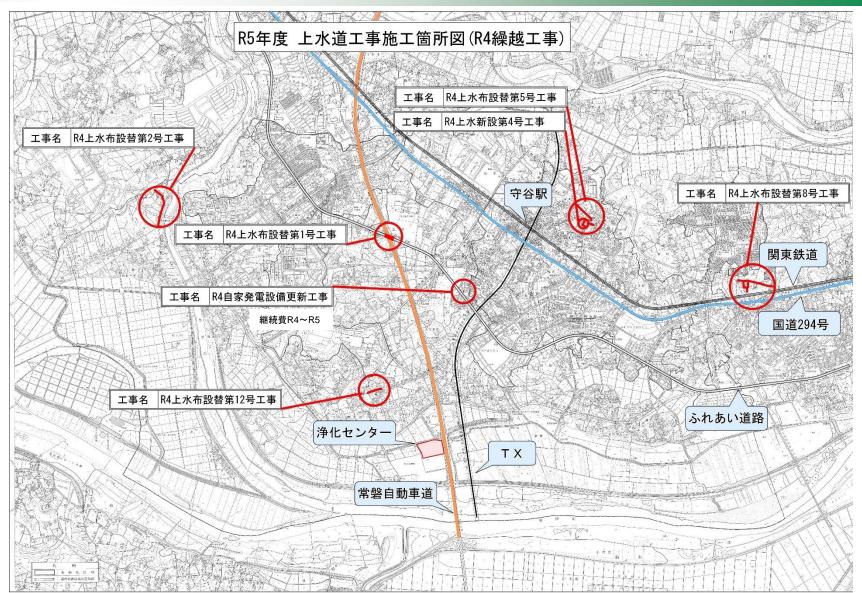


## 3 工事実績について【水道事業】年度内完了分



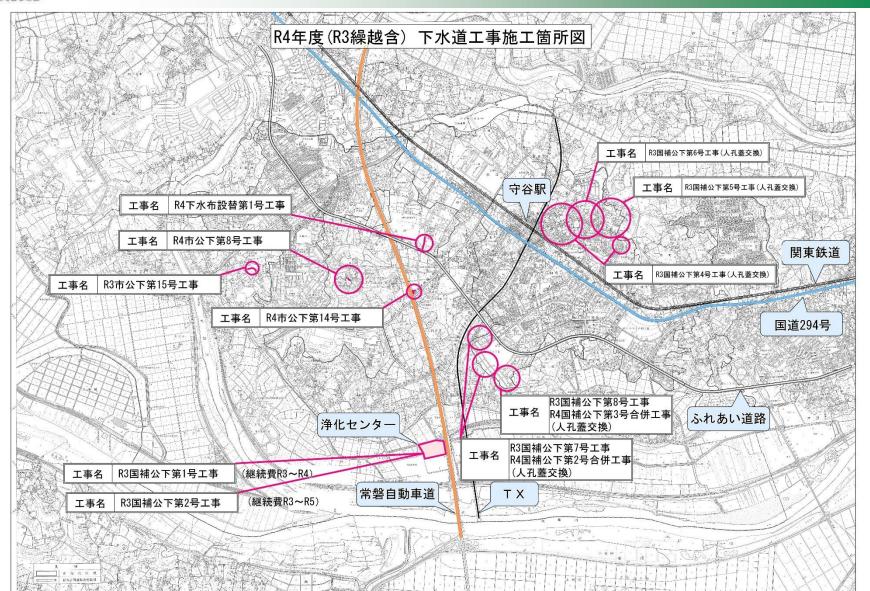


## 3 工事実績について【水道事業】翌年度繰越分



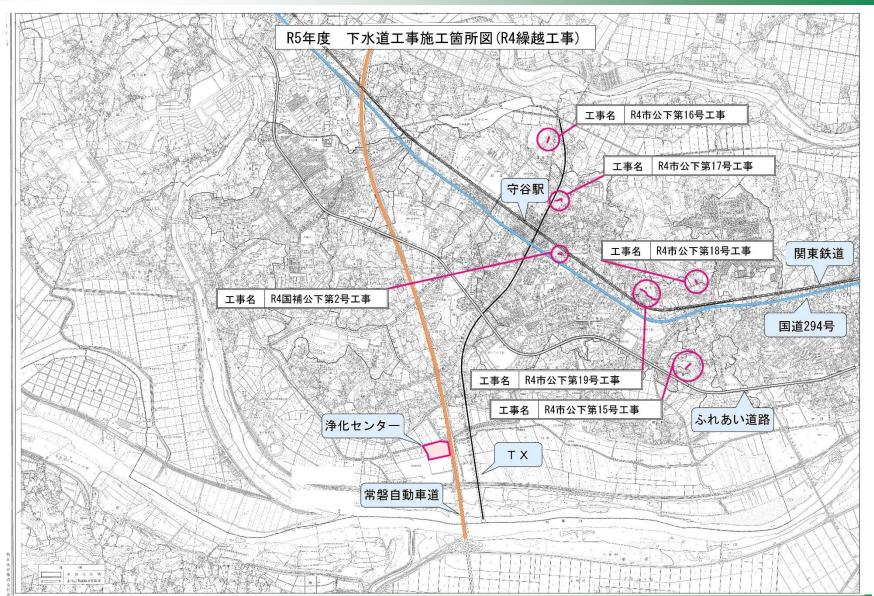


## 3 工事実績について【下水道事業】年度内完了分





## 3 工事実績について【下水道事業】翌年度繰越分





## 報告事項(2)

## 令和5年度 事業計画について



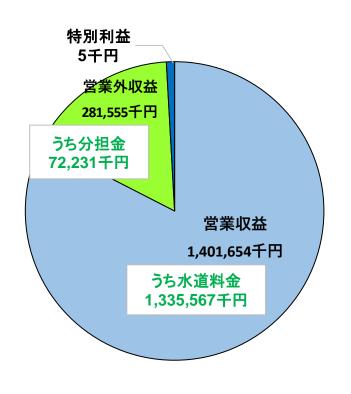
## 1 予算について【水道事業】

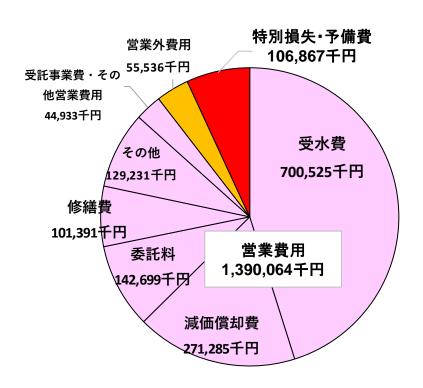
### 収益的収入および支出(税込み)

※施設の維持や運転、包括料金委託などの費用(3条予算)

【収益的収入】1,683,214千円

【収益的支出】1,552,467千円





収益的収入一収益的支出=130,747千円



### 1 予算について【水道事業】

### 資本的収入および支出(税込み)

※施設の構築等(4条予算)

#### 【資本的収入】21,389千円 【資本的支出】1,056,856千円 その他 企業債償還金 24,886千円 他会計補助金 5,891千円 360千円 設計委託料 (水道支弁職員の 児童手当給付補助金) 37,400千円 ・配水管布設・布設替工事 402,940千円 他会計負担金 ·自家発電設備更新工事 537,174千円 建設改良工事 包括管理更新工事 3.520千円 21,029千円 •消火栓更新工事 19,305千円 988,679千円 (消火栓設置負担金) •空気弁更新工事 25,740千円 (老朽化した消火栓や配水管、水道施設の更新等)

資本的収入一資本的支出=△1,035,467千円

※不足額は内部留保資金等で補てん



## 2 経営状況について(計画対比1) 【水道事業】

(単位:千円、税抜)

R5年度	経営戦略	予算	差異
水道事業収益	1,510,142	1,539,236	29,094
営業収益	1,320,720	1,276,147	△44,573
営業外収益	189,422	263,084	73,662
特別利益	0	5	5
水道事業費用	1,445,430	1,446,292	862
営業費用	1,367,270	1,297,126	△70,144
営業外費用	889	52,628	51,739
特別損失	77,271	96,538	19,267
当年度純利益	64,712	92,944	28,232

令和5年度の予算は、経営戦略と比較して、収益は主に分担金収入の増加などにより 29,094千円増加し、一方で費用は経営戦略値とほぼ同程度で862千円増加しました。 その結果、差し引きで28,232千円の利益増となりました。



## 2 経営状況について(計画対比2) 【水道事業】

(単位:千円、稅込)

R5年度	経営戦略	予算	差異
資本的収入	240	21,389	21,149
他会計負担金	0	21,029	21,029
他会計補助金	240	360	120
資本的支出	438,715	1,056,856	618,141
建設改良費	432,825	1,050,965	618,140
企業債償還金	5,890	5,891	1
収支不足額	△438,475	Δ1,035,467	△596,992
現金預金残高	2,553,889	2,952,093	398,204

令和5年度の予算は、経営戦略と比較して、資本的収入は消火栓設置負担金の増加などにより21,149千円増加し、一方で資本的支出は自家発電設備更新工事などにより618,141千円増加しました。現金預金残高は、過去の純利益が経営戦略よりも多かったため、398,204千円増加しました。



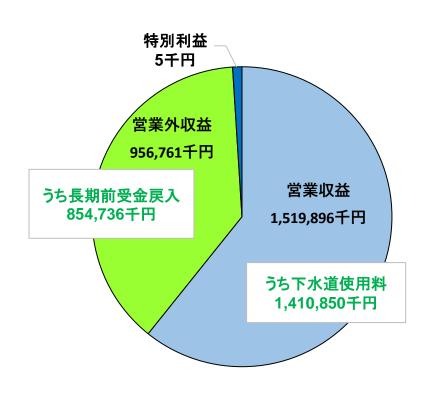
## 1 予算について【下水道事業】

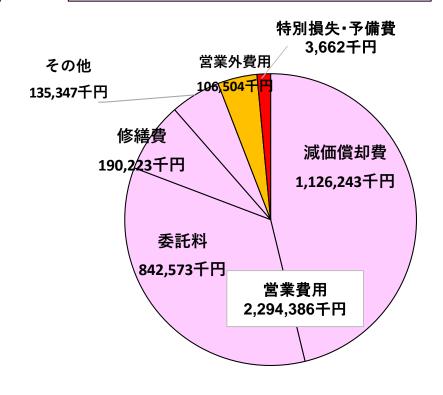
## 収益的収入および支出(税込み)

※施設の維持や運転、包括料金委託などの費用(3条予算)

#### 【収益的収入】2,476,662千円

#### 【収益的支出】2,404,552千円





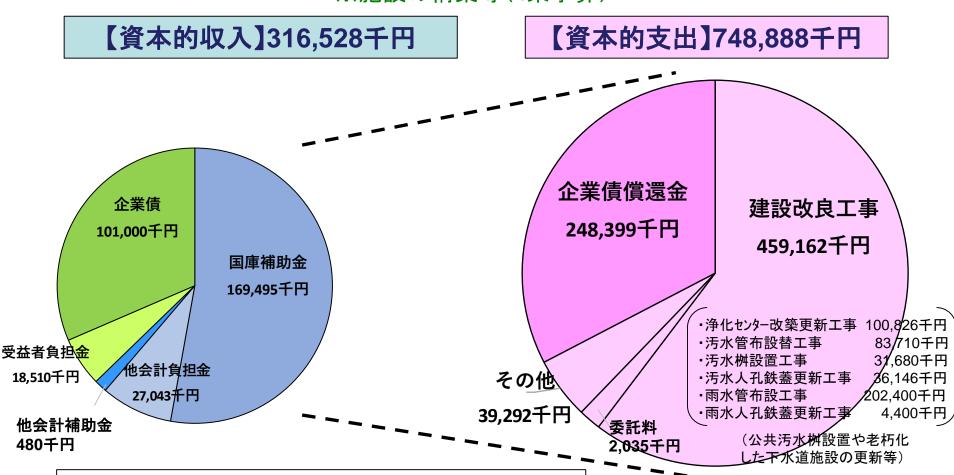
収益的収入一収益的支出=72,110千円



## 1 予算について【下水道事業】

### 資本的収入および支出(税込み)

※施設の構築等(4条予算)



資本的収入一資本的支出=△432,360千円

※不足額は内部留保資金等で補てん



## 2 経営状況について(計画対比1) 【下水道事業】

(単位:千円、税抜)

R5年度	経営戦略	予算	差異
下水道事業収益	2,312,817	2,346,179	33,362
営業収益	1,485,865	1,389,906	△95,959
営業外収益	826,952	956,268	129,316
特別利益	0	5	5
下水道事業費用	1,896,380	2,254,022	357,642
営業費用	1,857,131	2,196,859	339,728
営業外費用	38,950	56,561	17,611
特別損失	299	602	303
当年度純利益	416,437	92,157	△324,280

令和5年度の予算は、経営戦略と比較して、収益は主に国庫補助金の増加などにより33,362千円増加し、一方で費用は主に委託料や修繕費の増加などにより357,642千円増加しました。その結果、差し引きで324,280千円の利益減となりました。



# 2 経営状況について(計画対比2) 【下水道事業】

(単位:千円、稅込)

R5年度	経営戦略	予算	差異
資本的収入	169,608	316,528	146,920
企業債	0	101,000	101,000
他会計負担金	25,548	27,043	1,495
他会計補助金	120	480	360
国庫補助金	132,061	169,495	37,434
受益者負担金	11,879	18,510	6,631
資本的支出	676,395	748,888	72,493
建設改良費	427,997	500,489	72,492
企業債償還金	248,398	248,399	1
収支不足額	△506,787	△432,360	74,427
現金預金残高	5,421,107	4,768,555	△652,552

令和5年度の予算は、経営戦略と比較して、資本的収入は国庫補助金の増加などにより 146,920千円増加し、一方で資本的支出は汚水管布設工事の増加などにより72,493千円 増加しました。現金預金残高は、652,552千円減少しました。



## 1 予算について【農業集落排水事業】

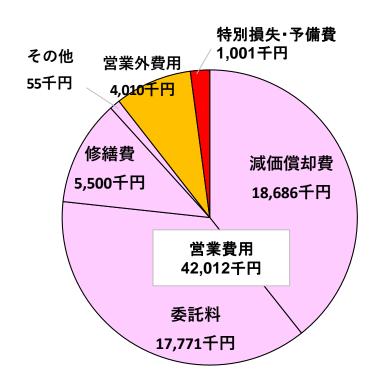
## 収益的収入および支出(税込み)

※施設の維持や運転、包括料金委託などの費用(3条予算)

#### 【収益的収入】47,023千円

#### 【収益的支出】47,023千円





収益的収入一収益的支出=0千円



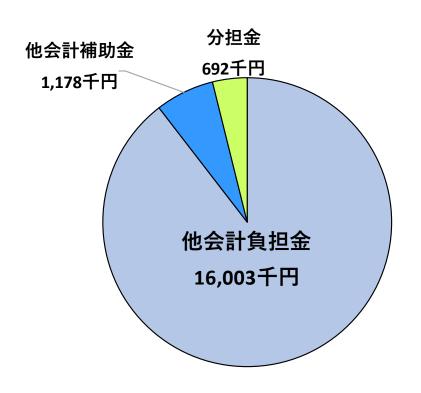
## 1 予算について【農業集落排水事業】

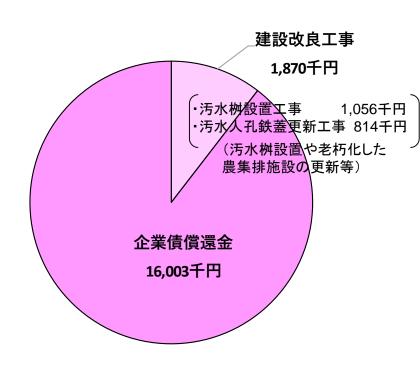
## 資本的収入および支出(税込み)

※施設の構築等(4条予算)

#### 【資本的収入】17,873千円

【資本的支出】17,873千円





資本的収入一資本的支出=0千円



#### 2 経営状況について(計画対比1) 【農業集落排水事業】

(単位:千円、税込)

R5年度	経営戦略	予算	差異
農業集落排水事業収益	39,304	47,023	7,719
営業収益	5,718	5,631	△87
営業外収益	33,586	41,391	7,805
特別利益	0	1	1
農業集落排水事業費用	23,302	47,023	23,721
営業費用	21,557	42,012	20,455
営業外費用	1,745	4,010	2,265
特別損失	0	1,001	1,001
当年度純利益	16,002	0	△16,002

※農業集落排水事業の経営戦略については、特別会計の頃に策定したものであり、税抜き額の記載がないため、税込予算との対比としています。

令和5年度の予算は、経営戦略と比較して、収益は主に長期前受金戻入の増加により7,719千円増加し、一方で費用は主に減価償却費の増加により23,721千円増加しました。



#### 2 経営状況について(計画対比2) 【農業集落排水事業】

(単位:千円、税込)

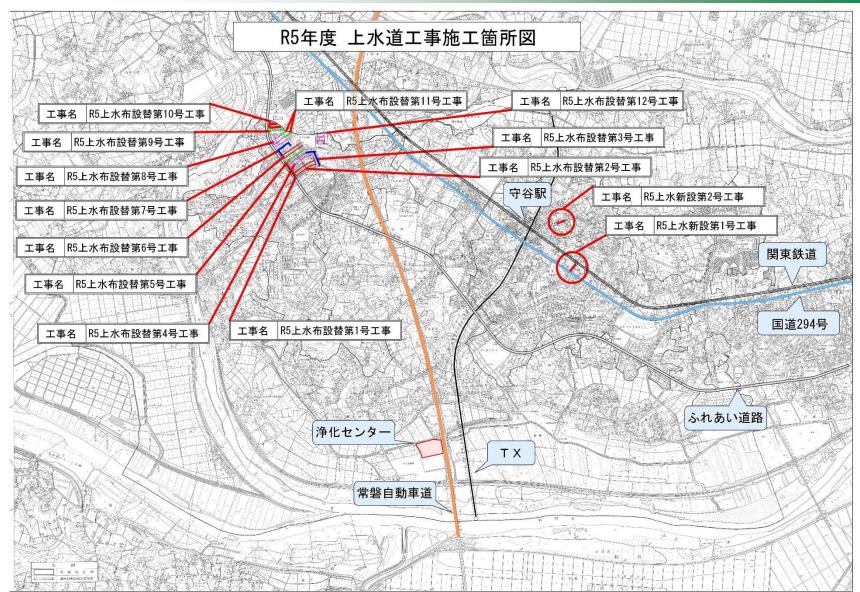
R5年度	経営戦略	予算	差異
資本的収入	1,790	17,873	16,083
他会計負担金	0	16,003	16,003
他会計補助金	1,444	1,178	△266
分担金	346	692	346
資本的支出	17,792	17,873	△81
建設改良費	1,790	1,870	80
企業債償還金	16,002	16,003	1
収支不足額	△16,002	0	16,002
現金預金残高	_	25,062	25,062

※農業集落排水事業の経営戦略については、特別会計の頃に策定したものであり、現金預金 残高は明記していません。

令和5年度の予算は、経営戦略と比較して、資本的収入は他会計負担金の増加などにより16,083千円増加し、一方で資本的支出は経営戦略とほぼ同額となりました。

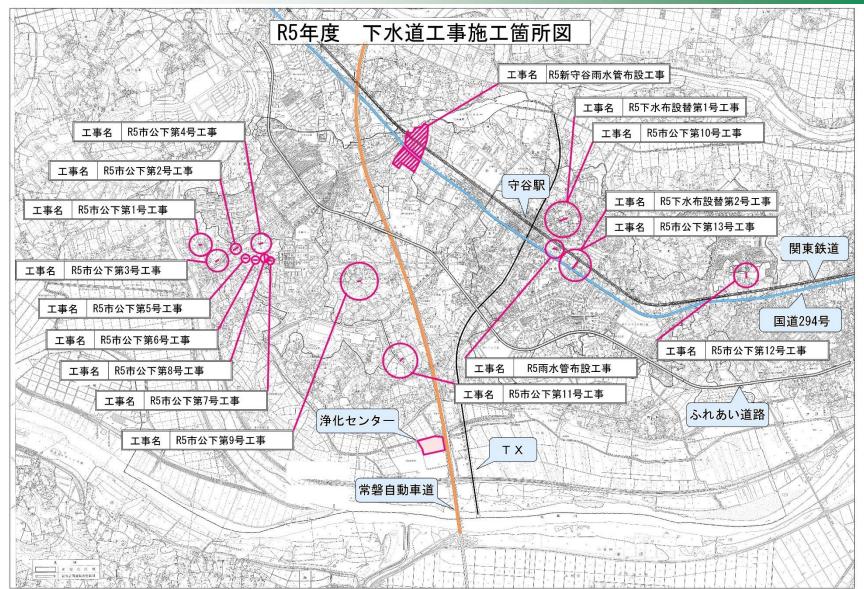


# 3 工事計画について【水道事業】





# 3 工事計画について【下水道事業】





# ご清聴ありがとうございました